

■タイトル

出雲國たたら風土記

～鉄づくり千年が生んだ物語～

■所在自治体 雲南市、安来市、奥出雲町

■ストーリーの概要

日本古来の鉄づくり「たたら製鉄」で繁栄した出雲の地では、今日もお世界で唯一たたら製鉄の炎が 燃え続けています。たたら製鉄は、優れた鉄の生産だけでなく、原料砂鉄の採取跡地を大きな稲田に再生し、燃料の木炭山林を永続的に循環利用するという、人と自然とが共生する持続可能な産業として日本社会を支えてきました。また、鉄の流通は全国各地の文物をもたらし、都のような華やかな地域文化をも育みしました。今もこの地は、神代の時代から先人たちが刻んできた鉄づくり千年の物語が終わる ことなく紡がれています。

■主な構成文化財

【国】 音谷たたら山内

- ◆ 金屋子神社（安来市）

【国】 奥出雲たたら製鉄及び棚田の文化的景観（奥出雲町）

- ◆ 民謡安来節（安来市）

■問い合わせ先

鉄の道文化圏推進協議会

島根県安来市広瀬町広瀬703 安来市教育委員会文化財課

TEL: 0854-23-3240 FAX :0854-23-3282

E-mail: bunka@city.yasugi.shimane.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】 一國指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



玉鋼製造（たたら吹き）伝承



金屋子神社

■タイトル

きっと恋する六古窯

—日本生まれ日本育ちのやきもの産地—

■所在自治体 備前市（岡山県）・越前町（福井県）・瀬戸市・常滑市（愛知県）・甲賀市（滋賀県）・丹波篠山市（兵庫県）

■ストーリーの概要

瀬戸、越前、常滑、信楽、丹波、備前のやきものは「日本六古窯」と呼ばれ、縄文から続いた世界に誇る日本古来の技術を継承している、日本生まれ日本育ちの、生粋のやきもの産地である。中世から今も連続とやきものづくりが続くまちは、丘陵地に残る大小様々の窯跡や工房へ続く細い坂道が迷路のように入り組んでいる。恋しい人を探すように煙突の煙を目印に陶片や窯道具を利用した解遊いに進めば、「わび・さび」の世界へと自然と誘い込まれ、時空を超えてセピア調の日本の原風景に出会うことができる。

■主な構成文化財

- ◆ 神明ヶ谷須恵器窯跡（福井県越前町）

【国】 瀬戸窯跡、小長曾陶器窯跡（愛知県瀬戸市）

【国】 登窯（愛知県常滑市）

- ◆ 信楽焼窯跡群（滋賀県甲賀市）

- ◆ 丹波焼古窯跡（兵庫県丹波篠山市）

【国】 備前陶器窯跡（岡山県備前市）

■問い合わせ先

六古窯日本遺産活用協議会（事務局 備前市産業観光課）

岡山県備前市東片上126

TEL: 0869-64-1832 FAX: 0869-64-1850

E-mail: bzsangyou@city.bizen.lg.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



ロクロ成形



窯焚き

【国】 一國指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



■タイトル

「日本第一」の塩を産したまち 播州赤穂



赤穂市立海洋科学館・塩の国 復元塩田



旧日本専売公社赤穂支局（赤穂塩務局）

■ストーリーの概要

江戸時代、システマティックな入浜塩田による塩づくりが確立された播州赤穂。瀬戸内の穏やかな海と気候に抱かれ、千種川が中国山地からもたらした良質の砂からできた広大な干潟は、入浜塩田の開発に適していた。その製塩技術は、瀬戸内海沿岸に広がり、市場を席巻するまでに成長した。中でも赤穂の塩は、国内きってのブランドとして名を馳せ、赤穂に多彩な恵みをもたらした。このまちには瀬戸内海から生み出される塩とともに歩んできた歴史文化が蓄積され、現在に息づいている。赤穂は今なお「塩の国」なのである。

■主な構成文化財

- ◆ 旧日本専売公社赤穂支局（赤穂塩務局）事務所
- 【国】 赤穂の製塩用具
- 【国】 田淵氏庭園
- 【国】 坂越の船祭
- ◆ 西浜塩田資料

■問い合わせ先

赤穂市日本遺産推進協議会事務局（赤穂市教育委員会生涯学習課）
兵庫県赤穂市加里屋81番地
TEL：0791-43-6962 FAX：0791-43-6895
E-mail：kyosyogai@city.ako.lg.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



大谷竈宮（大谷磨崖仏・特別史跡）

■タイトル

地下迷宮の秘密を探る旅
～大谷石文化が息づくまち宇都宮～

■所在自治体 宇都宮市

■ストーリーの概要

冷気が張りつめるこの空間は一体、どこまで続き、降りていくのだろうか。壁がせり立つ巨大な空間には、柱が整然と並び、灯された明かりと柱の影が幾重にも続く。柱と柱の間を曲がると、同じ光景がまた目前に広がり、しだいに方向感覚が失われていく。江戸時代に始まった大谷石採掘は、最盛期に年間89万トンを出荷する日本屈指の採石産業として発展し、地下に巨大な迷宮を産み出していった。大谷石の産地・宇都宮では、石を「ほる」文化、掘り出された石を変幻自在に使いこなす文化が連続と受け継がれ、この地を訪れる人々を魅了する。

■主な構成文化財

- ◆ カネイリヤマ採石場跡地（大谷資料館）
- 【国】 大谷磨崖仏
- 【国】 カトリック松が峰教会
- 【国】 旧藤原家住宅
- ◆ カネホン採石場（高橋佑知商店）

■問い合わせ先

宇都宮市教育委員会事務局文化課
宇都宮市旭1丁目1番5号
TEL：(028) 632-2766 FAX：(028) 632-2765
E-mail：u4607@city.utsunomiya.tochigi.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



カネイリヤマ採石場跡